

会 報 第 8 号

\* \* この一年を顧みて \* \*

委員長 村上和夫

ことしも、会員の皆様のご協力と役員諸氏の努力により、ほぼ順調のうちに一年を終えることができました。有難うございます。

年間を通して、比較的天候に恵まれたこともあって、予定しておりました主要競技会はすべて実施できましたし、テニス協会から依頼を受けたシルバーテニス大会の運営も無事に遂行することができました。諸行事を通じて私が最も嬉しく思いましたことは、参加して下さる会員の数が大幅に増加したことであります。年齢別ダブルス、技量別ダブルス、混合ダブルス、各月の月例会いずれも昨年より2～3割は多かったように思います

いま一つ喜ばしいことは、転勤その他のの事情で退会される方が結構多数おられたにもかかわらず、それを上回る新規会員の加入があって、会員数が増加していることであります。私共役員にとりましては、まことにお世話のしがいがあるというものであります。しかし、私共役員は、あくまで裏方であり、連盟を盛り上げてゆく主役は何と申しましても会員の皆様であります。

来年も、どうぞ諸行事に積極的に参加下さいますようお願い申し上げる次第であります。

\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*

北海道熟年テニスクラブの概況

会長 田治米 鏡二

北海道のテニス大会のほとんど全部が札幌圏で行われている。この欠陥を少しでも補う意味で、札幌協と旭川協とのバテニス対抗戦が毎年旭川市で行われている。これは親善試合なので、選手権大会出場に至らない技術の人達の参加も歓迎される。筆者は永年のブランクの後にテニスを再会した直後にこの大会に誘われて、北海道のテニス界にデビューしたのだった。札幌への帰途の列車内のビールを楽しみに参加する者もいる。あまりハヤギ過ぎて車掌に叱られたこともある。

札幌のバテニス大将は長友浪男で、北海道協会会長を務めたこともある。同行した小樽の斎藤進は若い頃北海道選手権を10年近く独占した古強者であって、体力は衰えたが今でもテニスの気炎は凄まじい。この二人が列車内のビール の勢いもあって、天下国家を憂う志士気取りでテニスを論じ、草テニスに甘んじている多くの高齢テニス愛好者を救わねばならぬとの意見が一致した。この意見は早速実行に移されて、北海道

◆目次◆

◆この一年を顧みて	委員長 村上和夫	1
◆北海道熟年テニスクラブの概況	田治米 鏡二	1～2
◆平成元年事業報告		3
◆テニールミニ解説 No.3	山内	3
◆宮城県壮年テニス連盟競技会記録		4
◆会員参加各種競技会記録		5
◆平成元年度対女子連対抗定期戦		5
◆ねんりんピック89大分テニス親善交流大会		5
◆いわき市バテニスクラブとの親善試合		5
◆「ねんりんピック89大分大会に参加して」	加藤文二	5～6
◆「いわき市VTCとの親善試合」に参加して	久保寿一	6
◆「いわき市VTCとの交流会」に参加して	和田美代子	7
◆サーズ「より楽しいテニス」No.4	高橋龍夫	7
◆会員異動		8
◆第7回委員総会		8
◆会員の声		8

\* \* \* \* \*

協会の実務面で長友を補佐していた川上隆夫が北海道熟年テニスクラブの会長になり、札幌協会の藤元の中島公園テニスコートで週1回の合同練習会が始まった。1982年の事である。

川上の目の届く範囲で適当に会員名簿を作り、年会費1000円を徴収して通信費に当てた。ダブルスの試合の際に川上のパートナーだった田治米鏡二が相談役であったものの、熟年テニスの実務は川上1人が担当した。通信連絡も口込みが主であったし、会員名簿も周知されず、会費の納入も会長周辺の者に限られていた。それにしても熟年テニスクラブの創設は時宜に適していたらしく、合同練習会はたちまち盛況を呈する様になった。ところが老人どもが我がもの顔に中島公園テニスコートを占有するに至ると、一般会員からの苦情が出だした。

そこで民間テニスクラブのオーナーの了解を得て、格安の料金で合同練習会をそのコートでさせて貰うことにした。オーナーの中に熟年テニスクラブ員が居ることが幸いしたのである。ただし、週1回とはいえ、格安の料

で毎回約30名の熟年テニスクラブ員が4面のコートを占めることに一般のクラブ員に不満が無い訳ではない。熟年テニスクラブの練習会が盛んになる一方において、この種の問題は避けられない。1民間テニスクラブに社会福祉事業を何時までも強制するのは無理かも知れないからである。

熟年テニスクラブの会員の多くは市内のそれぞれのテニスクラブに入会をしているが、各クラブに分散すると高齢者会員は少ないので、仲間外れになりやすい。若者同志の活発なプレーを見てテニスクラブ入会を躊躇している者も居る。これら的高齢者も熟年テニスクラブの練習会では伸び伸びとプレイし、幼稚園児の如く嬉々としている。

1986年に田治米が純粹の年金生活者になったので、川上に代って彼が熟年テニスクラブ会長になった。此を機にクラブはやや組織化された。会長指名による幹事数名がおかれた。会員は社会の各方面でかつて活躍した多士済済である。庶務、会計を苦しめない人達が幹事になった。そのためもあって会員数も次第に増え、約150名になった。女子会員は10名程度である。会費納入率は90%を優に越す好成绩なので、クラブ便りを手書きからワープロに改め、発行回数を増すことにした。クラブ便りと練習会とが熟年テニスクラブの主要行事である。

1989年度から熟年テニスクラブは札幌テニス協会に団体として登録し、一般のテニスクラブや協会に属しない会員でもテ

ニスの総てのテニス大会にエントリー出来るようにし北海道の60歳以上のテニス大会の出場者の殆どは熟年テニスクラブ会員である。晴れ舞台に上がった事もない人達も衆人觀視の中でプレーする緊張感を体験した。新しい人生の発見である。しかしダブルスのペアを長続きさせるのは難しい。練習会は集団見合の場でもあるので、各自が適当なパートナーを見つけて、晴れ舞台に上がるペアが続々成立することが望まれる。

この様に熟年テニスクラブ会員が高齢者テニスの主役を演ずるようになると、会則を作れとの声も聞くが、高齢者になってまでも規則に縛られるのを欲しない会員も多いので、会の運営は会長と幹事との相談だけで行っている。

女子テニス高齢者は急速に増す状況にあるので、熟年テニスクラブ入会資格の基準を男子は60歳以上とし女子は40歳以上としているのは実情にそわない面もある。しかし札幌以外の地方都市に行くと、熟年テニスの仲間は壮年女子が主役である。他の町に試合に出掛けるのも楽しいし、地方都市の熟年テニスの隆盛を計るのも当クラブの当初からの目的なので、夫々の都市の実情に合わせた運営をしなければならない。

一昨年から全国高齢者(男子60歳以上、65歳以上および女子60歳以上)ダブルス都市対抗戦が行われ、本年から此の北海道予選を兼ねた試合がおこなわれた。この試合には男子60歳以上8ペア、65歳以上16ペアおよび女子60歳以上5ペアが出場した。

来年度から全日本大会においても男子65歳以上、女子55歳以上ダブルス種目の新設があると聞く。高齢者スポーツは益々盛んになる気運にある。

熟年テニスはいつまでも1民間テニスクラブの厚意に頼って居られないであろう。特に札幌圏では公共施設を訴える時期に来ている様に思われる。

★ ★ ★

筆者の田治米鏡二氏は昭和13年に旧制第二高等学校(仙台)に入学され、インターの選手として活躍されました。同年の東北テニス選手権ではソケットで準優勝という輝かしい経歴の持主です。その後、学校のテニス部の合宿中に身体をわるくされ、57歳までテニスから遠ざかっておられたそうです。北海道大学理学部で教鞭をとられ、理学部長をも勤められました。最近北海道の老壮年の選手として、道内での各種の大会は勿論のこと、北海道対東北のテニス定期戦、都市対抗全国大会等の北海道代表選手としてご活躍中です。「最近とみにテニスの切れ味と毒舌に磨きがかかってきた。」とは、氏を慕ってやまない道産子壮年テニスプレーヤー諸氏の田治米評だそうです。

この原稿は今年北海道で開催された「はまなす国体」のテニス会場で、事務局の高橋が氏に直接お会いしてお願したものです。会員組織等に違いはあるにしても、高齢者のテニスに対する考えかたに学ぶところ多と思われまます。紙面を借りてお礼申し上げます。

★ ★ ★

平成元年度 事業報告

月	日	事業名	参加人員	
1	12	第1回運営委員会		第27ソソソホテル「ジャンベレ」
	16	室内ダブルスを楽しむ会	36名	キノSC広丁室内コート
2	11	室内ダブルスを楽しむ会	36名	キノSC広丁室内コート
	9	第2回運営委員会		東北大学科学計測研究所
3	19	室内ダブルスを楽しむ会	25名	キノSC広丁室内コート
	25	第3回運営委員会		東北大学科学計測研究所
	25	委員総会(前期)		東北大学科学計測研究所
	19	WEEKDAY交歓会	42名	県営宮城野原庭球場
5	10	WEEKDAY交歓会	61名	県営宮城野原庭球場
	19	WEEKDAY交歓会	46名	県営宮城野原庭球場
6	25	第4回運営委員会		東北大学科学計測研究所
	8	競技担当委員会		片平市民センター
	9	WEEKDAY交歓会	35名	東北電力中山コート
	11	第4回年齢別ダブルス大会	68名	泉総合運動場庭球場
7	1	シルバーテニス交流大会(運営)		県営宮城野原庭球場
	14	WEEKDAY交歓会	30名	青葉山公園庭球場
	30	月例会	44名	青葉山公園庭球場
8	25	競技担当委員会		片平市民センター
	7	第5回運営委員会		東北大学科学計測研究所
	17	対いわき市VTC親善試合	23名	いわき市新舞子ハイコート
	24	月例会	44名	青葉山公園庭球場
10	7	競技担当委員会		片平市民センター
	10	技量別ダブルス大会	79名	青葉山公園庭球場
11	3	対女子連対抗定期戦	33名	青葉山公園庭球場
	9	第6回運営委員会		東北大学科学計測研究所
	10	WEEKDAY交歓会	32名	市営評定河原庭球場
	12	混合ダブルス大会	64名	県営宮城野原庭球場
12	2	第7回運営委員会		東北大学科学計測研究所
	2	委員総会(後期)		東北大学科学計測研究所
	2	懇親会	54名	ろうふく会館

\* \* \* \* \*

テニスルール・ミニ角評言説

常設物に触れた(又は当たった)ボールの判定について 山内 宏

- (1) 常設物とは・・・コートの常設物には、ネット、ポスト、シングルスティック、コート、ストラップ、バントのみならず、コート周辺のバックおよびサイドストップ、スタント、その他全の施設、定められた位置についているアンソール、ネットアンソール、フットフォルトシヤッジ、ラインスマン、ボールボーイをも含む。
- (2) サービスの場合・・・① サービスされたボールが地面に落ちる前に、常設物に触れたときは、サービスはフォルトとなる。ただし、サービスしたボールがネット、ストラップ、又はバントに触れて相手側のサービスコートに入った場合、またはボールがネット、ストラップ又はバントに当たった後、地面に落ちる前に、レシーバー又はその着衣もしくは持ち物に触れた場合はサービスレットとなる。② サービスされたボールが正しく相手側のコートに入ったあと、常設物に触れたときはサーバーの得点となる。
- (3) プレー中の場合・・・① 返球が地面に落ちる前に、常設物またはその他の物に当たったときは、そのプレーヤーの失点となる。但し、ボールがネット、ポスト、シングルスティック、コート、ストラップ又はバントに触れたとしても、それを越して正しく相手のコートに入ったときは有効な返球となり、失点とはならない。② プレー中のボールが地面に落ちた後、常設物(ネット、ポスト、シングルスティック、コート、ストラップ、バントを除く)に当たった場合、打ったプレーヤーの得点となる。③ プレー中のボールが地面に落ちた後、ネット、ポスト、シングルスティック、コート、ストラップ又はバントに当たった場合で、プレーヤーがネットタッチ等なく正しく返球すれば、有効な返球となる。④ いかなる場合でも、プレー中にプレーヤーまたはそのプレーヤーのラケット、その着衣もしくは持ち物が、ネット、ポスト、シングルスティック、コート、ストラップ又はバントに触れた場合はプレーヤーの失点となる。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

◇競技会記録◇

☆第4回年齢別ダブルス大会

期日 6月11日(日)  
会場 泉総合運動場庭球場  
参加人員 68名

★女子50歳以上

優勝 石川ヨ子 北島さと 組  
2位 奥井紀美子 高橋哲子 組  
3位 菊田絢子 庄司勝子 組

★女子45歳以上

優勝 渋谷陽子 酒井優子 組  
2位 大賀やす子 加藤悦子 組

★女子40歳以上

優勝 小田島美代子 松坂真砂子組  
2位 玉山梅子 関 郁子 組  
3位 布留川三枝子 剣持啓子組

★男子65歳以上

優勝 新藤英雄 武田満雄 組  
2位 吉沢幸雄 川上秀之 組  
3位 上山 弘 岩月賢一 組

男子60歳以上

優勝 室賀 創 山が・S 組  
2位 平井正光 伊藤一利 組  
3位 浅野正次 小野泰祐 組

男子50歳以上

優勝 遠藤一博 斎藤昭男 組  
2位 北島 宏 伊勢重男 組  
3位 松山真水 金野 威 組

男子45歳以上

優勝 長田輝夫 渡辺貞夫 組  
2位 川口温弘 高橋正義 組  
3位 小田島政勝 酒井秀章 組

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

☆混合ダブルス大会

期日 11月12日(日)  
会場 県営宮城野原庭球場  
参加人員 64名

★Aクラス

優勝 和田美代子 近 晴雄 組  
2位 渋谷陽子 酒井秀章 組  
3位 棚橋美恵子 村上 実 組  
3位 本間和子 本間満雄 組

★Bクラス

優勝 首藤紀子 上山 弘 組  
2位 谷岡 栄 谷岡勝弘 組  
3位 安藤伸子 剣持勝衛 組  
3位 井沢三幸 北島 宏 組

★Cクラス

優勝 増田恵子 工藤和夫 組  
2位 今野ミチ 武田満雄 組  
3位 伊藤久子 伊藤一利 組  
3位 菊田絢子 花淵武雄 組

☆技量別ダブルス大会

期日 10月10日  
会場 市営青葉山公園庭球場  
参加人員 80名

★Aクラス

優勝 三塚浩四郎 小野寺絃一 組  
2位 松山真水 中島 祐 組  
3位 遠藤一博 志間弘治 組

★Bクラス

優勝 棚橋美恵子 村上 実 組  
2位 小野泰祐 久保寿一 組  
3位 佐々木満博 金子利幸 組

★Cクラス

優勝 岩月賢一 武田満雄 組  
2位 坂爪ミヤ 剣持啓子 組  
3位 矢野南巳男 高橋重郎 組  
3位 三谷夫妻 組

\*\*\*\*\*

◇公式戦記録(会員参加の分)

☆日本テニス協会主催

★第51回全日本バテニス選手権大会

期日 9月24日～  
会場 高井戸グレイブスTC(東京)  
男子45歳以上ダブルス  
準優勝 高橋龍夫(川緑衛)

★第13回全日本ローコートバテニス選手権大会

期日 11月16日～  
会場 ウィンブルドン九州(佐賀市)  
男子45歳以上ダブルス  
準優勝 高橋龍夫(川端正志)  
男子50歳以上ダブルス  
3位 高橋龍夫

☆東北テニス協会主催

★第4回東北バテニス選手権大会

期日 8月2日～  
会場 安比高原TC  
男子50歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫  
男子45歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫(川緑衛)  
男子55歳以上ダブルス  
準優勝 高橋良昌(渡部満彦)

★第2回東北ミックスダブルス選手権大会

期日 9月24日～  
会場 青葉台TC  
第2部ジョイントマッチ  
優勝 近 晴雄(渡辺仁美)

★東北シグル選手権大会

期日 9月30日～  
会場 泉PTTC  
男子45歳以上シグルス  
優勝 高橋龍夫

★東北室内選抜ダブルス大会

期日 2月18日～  
会場 岩手産業会館  
男子45歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫(川緑衛)

☆宮城県テニス協会主催

★第12回春期コストナウト

期日 5月5日～  
会場 県営宮城野原庭球場  
男子45歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫(川緑衛)  
準優勝 長田輝夫(進藤)  
男子55歳以上ダブルス  
優勝 中村克宏(落合定夫)  
準優勝 室賀 創 久保寿一  
男子45歳以上シグルス  
準優勝 高橋龍夫

★宮城県シグル選手権

期日 6月16日～  
会場 泉PTTC  
男子45歳以上  
準優勝 高橋龍夫

★国体テニス競技県予選

期日 7月1日～  
会場 泉総合運動場庭球場  
男子45歳以上シグルス  
優勝 高橋龍夫  
男子45歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫(川緑衛)

★県テニス選手権大会

期日 9月9日  
会場 県営宮城野原庭球場  
男子45歳以上シグルス  
優勝 高橋龍夫  
男子45歳以上ダブルス  
優勝 高橋龍夫(川緑衛)  
準優勝 小野寺絃一(本多徹)  
男子55歳以上シグルス  
優勝 庄子 弘  
準優勝 中村克宏

☆仙台市・泉市テニス協会

主催

★第26回市民総合体育大会

期日 10月7日～

会場 東部5号公園テニスコート

壮年シングルス

優勝 福山昌利

壮年ダブルス

優勝 小田島政勝 酒井秀章

★第3回市民テニスマチ

期日 9月15日

会場 泉総合運動場庭球場

男子ダブルスB1

優勝 近 晴雄(平川)

男子ダブルスB2

優勝 小野寺嘉郎 斎藤昭男

☆宮城県家庭婦人テニス連盟

主催

★春期シングルス別家庭婦人テニス大会

期日 5月23日～

会場 県営宮城野原庭球場

ダブルスBシング

優勝 井沢三幸 和田美代子

★秋期シングルス別家庭婦人テニス大会

期日 9月20日～

会場 県営宮城野原庭球場

ダブルスAシング

準優勝 井沢三幸 和田美代子

◇女子連対抗定期戦◇

開催日 11月3日

会場 市営青葉山公園庭球場

参加人員 34名(女子連34名)

戦績 1組 2勝3敗1分 2組 1勝5敗

3組 1勝5敗 4組 0勝5敗1分

5組 3勝3敗 6組 6勝0敗

本年の対抗戦はポイント数15対23の大差で女子連に敗れ「女子連強し」の印象を受けました。神吉杯奪還に燃えて来年は頑張ります。

◇ねんりんピック'89

大分県テニス親善交流大会◇

開催日 11月4日～

会場 日出町厚生年金休暇センターコート

別府市営公園コート

参加者 総監督 山内 宏

選手(宮城県) 加藤文治 佐藤栄治

鈴木東行 小関精吉

守田 忠 高嶋 川E

奥井紀美子

(仙台市) 岩月賢一 花淵武雄

瀬戸尾秩 武田満雄

室賀 創 久保寿一

菊田絢子 庄司勝子

最終結果:仙台市は堂々5位に入賞し、優秀賞を獲得、全員が賞状とメダルを記念に帰仙しました。ちなみに、優勝は岡山、2位横浜、3位神奈川でした。

対戦成績

結果 予選リーグ戦(11/4)

2組

	1	2	3	4
①宮城		0/3		1/2
②広島	3/0		0/3	
③神奈川		3/0		3/0
④長崎	2/1		0/3	

宮城 第4位

6組

	1	2	3	4
①愛知		0/3		0/3
②仙台市	3/0		2/1	
③山口		1/2		1/2
④鹿児島	3/0		2/1	

仙台市 第1位

順位リーグ戦

	1	2	3
①静岡		1/2	2/1
②岡山	2/1		3/0
③仙台市	1/2	0/3	

仙台市 第3位(1位ワック)

	1	2	3
①刈刈		3/0	3/0
②宮城	0/3		0/3
③福島	3/0	3/0	

宮城第3位(4位ワック)



まねんりんピック1989大分大会に参加して

白石市 加藤 文二

昨年、宮城県壮年テニス連盟の会報の中に厚生省が主催する「全国健康福祉祭第1回神戸大会」の記事をみても、他人事のように思っていた。10年前にも「タートルピック(亀の歩みの意)という、老人福祉の大会に、第2回目の班長というか隊長として、県の責任者として出席したことはあった。勿論、年齢的に若かったから選手として出場はできなかったし、競技種目は走る種目のみであったようだ。

今年の大会が大分県で開催されるのは知っていたが、自分とは関係のないことと考えていた。ところが、ある日の夜半、山内さんからの突然の電話で「只今選考会議があり、県の代表として内定したので出場してほしい」というお話を受けた。4月に仙台市が政令指定都市となり県とは別枠で出場することになったため、仙台市以外の場所に居住する65

歳以上のテニスプレーヤーの人数も少なく、私にまわってきた話のようである。私にとっては誠に有難い話ではありましたが、他にもっと強くて経験の豊富な人たちが居る筈なので一応は辞退したのでありますが、県老人クラブ連合会の横山常務さんから、推薦名簿にのって居るが是非とも頑張りたいとの声かけもあり、鳴子町の佐藤栄治さんと組むことになり出場させていただきました。

10月26日には県議会庁舎前広場で仙台市を除く、県内7地方から選手と役員あわせて109名の県選手団の団結式があり、ソフトボール、卓球、テニス、ゲートボール等10競技の選手が勢ぞろいをした。11月2日に仙台空港より2班に分れて出発、福岡空港と大分空港にそれぞれ到着、最初予定していた杉の井が労働争議でトラブル中のため、宿舎は分宿となり、我々の宿は鉄輪美吉旅館となった。翌日午後から大分市の6号特設会場で開会式、記念フェスティバルがあり、会場の広さにただ驚くばかりであった。参加人員だけでも1

万1千人をこえるのに全員が椅子に着席でき、青空にはアドバルーンや凧が一杯、NHKの宮本、杉浦両アナウンサーの共同司会で会が進行した。常陸宮殿下、同妃殿下がご臨席になられ、さとう宗幸の「旅の途上で」が発表され、我が県出身の歌手に胸をそらす思いで見たりで大盛況であった。

11月4日からは本命の親善交流試合が日出町(ひじ町)大分厚生年金休暇センターコートでおこなわれた。8時50分から9時20分までテニスの開会式があり、男子82歳、女子77歳の出場最高年齢者に厚生大臣からの表彰があり、いよいよ試合開始となった。我々宮城県は第2コートで広島を相手に戦ったが、3対0で敗退、2回戦も長崎に2対1で敗れた。我々の試合が早く終わったので、善戦中の仙台市の応援に全員でかけた。仙台市は同勝率の鹿児島に得失点差で勝ち、



ま い わ き 市 ヲ テ ラ ン テ ニ ス ク ラ ブ  
ト の 親 善 試 合 に 参 加 して

久保 寿一

去る9月17,18の両日、恒例の対いわき市VTCとの親善試合が、いわき市新舞子ハイテニスコートで行われた。当日、私達宮城県壮年テニス連盟新藤団長以下23名は、仙台駅7時51分発特急「ひたち」上野行きに乗車、目的地平駅に向かった。途中、車窓から見える常磐路の初秋の風景を眺めながら同行の方々との談義などしながら午前9時55分平駅に到着、ハイに分乗して新舞子コートへと急いだ。昨年歳王でお会いしたお馴染みのいわきVTCの皆さんに迎えられた。しばし旧交を暖めながらの休息ののち、全員コートに出てネットをはさんで整列、いわき安部会長の歓迎の挨拶、新藤団長の謝辞と続き、選手紹介と試合方法の説明の後直ちに試合に移った。

ゲームは緒戦から双方迫力のある好ゲームを展開、さすがVTC同志、名プレーや迷プレーの続出に拍手また拍手。和やかなムードの裡に第一日目を終えた。いわきの方々に宿舍まで送っていただき、ホテルからいわきの大浴場で早速熱戦の汗を流した。

午後6時30分からホテルの大ホールで懇親の会が盛大に始まった。先ず阿部会長がトランプを交えながら今日の

予備リーグで第1位となり、我々も何か唖とした気持ちで旅館に帰った。

第2日目は別府市営コートで沖縄、福島と対戦、それぞれ3対0で敗退してしまっただけに、誠に申し訳のない仕儀とはなってしまっただけに、大会の規模、運営の両面に素晴らしいものがあり、気持ちの良い貴重な体験をさせていただいた。来年の開催地は滋賀県、次が岩手県となるそうである。大会のテーマである「健やか人生きらく生命」に充分ひたることが出来たことを感謝いたします。最後になりましたが山内監督には前向きに面倒をみていただき、最後の交歓試合では来年度のインターハイの紹介までしていただき宮城県の名を印象付けていただいたことに感謝を申し上げます。

試合を振り返り、仙台の善戦を称えながら両軍の珍プレー、迷プレーを紹介、笑いの中に楽しい雰囲気盛り上げる挨拶をされた。受けて、仙台からは岩月さんのお礼の挨拶があり、今後も長くこの親善交流が続くことを期待したいと述べられた。冷たいビールで乾杯のあと、中華料理に舌つつまみを打ちながら和気藹藹の交歓が繰り広げられた。いわきのH氏のまことに巧妙な司会とMCに合わせたの迷舞踊に会場は爆笑の渦と化した。更には、双方入乱れてのMC合戦、ダンス等々ムードは最高潮になり、いつ尽きるともわからない状態となったが夜半過ぎ、明日の交流試合のため、名残を惜しみ乍ら散会となった。

翌18日、昨夜の余韻未だ覚めやらないうちに、9時から会場を市営コートに移し、パートナーを換え、対戦相手を変えて、再度熱戦を展開したが、帰仙時間の都合もあり、午前中で交流試合を終えた。来年の仙台での再会を約し、いわきの方々の暖かいご配慮に感謝しつつ、堅い握手で名残を惜しみながら当地を後にした。

終りにあたり、宮城県壮年テニス連盟に入れていただいたお陰で、このような多くの方々とのテニスを通じ出逢いの機会が多くなった幸せを感謝しつつ、筆をおきます。掌にあたられた皆様感謝いたします。



※テニス — □メモ ※ テニス用具の中で大切なものの横網格でありながら、何時も虐待され、比較的、関心の薄い物は何？ テニスシューズです。テニスをする時、最も使われ、プレーにも直接影響するシューズには、クレー用、ハードコート用、人工芝用等使用コートに適したシューズがあります。足元が定まらなくてはより良いプレーは望めません。大切な足の保護の為に、底のすり減ったシューズの使用は止めましょう。そして、シューズの洗濯も忘れずに。

## まいわき市ベテランテニスクラブ との交流会に参加して

和田 美代子

平成元年9月17日及び18日の両日、恒例の、いわき市VTCとの親善試合に、主人共々参加させていただきましたのでその時の様子等をご報告いたします。

当日は、早朝仙台発7時51分のひたち116号により出発しましたが、いわき市に近づくにつれ、今夏、仙台では見られなかった晴天に恵まれ、列車の中から闘志を燃して試合に臨んだのですが、残念ながら私達のペアは、3敗してしまい大変口惜しい思いをいたしました。しかし、対抗戦の総合成績は仙台市の勝利のようでした。

17日は対抗戦の他に時間の許す限り親善試合をしていただき、目一杯テニスを楽しませていただきました。また、夕刻6時より親睦会が行われました。ベテランテニスの練習方法、クラブの運営方法等のお話、自己紹介などを肴にして時間が進み、カラオケ大会、ダンス、カラオケ付き踊りまで飛び出し、あっという間の交流親

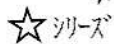
睦会でありました。親睦会での芸能部門では仙台への完敗でしたので、今後、宮城県壮年テニス連盟においてもこの部門での強化が必要とおもわれます。

最後に、いわきチームの強さの秘密を聞き出して来ましたのでお知らせいたします。お酒の席での話です。その信憑性については責任が持てませんので悪しからず。

- 1,市営コートが格安で使用出来、毎日でもテニスができること。
- 2,市営コートでは技量に関係なく指導してくれる迷コーチ(テニスチ)がいつもいて相手をしてくれる。
- 3,定期的に、チーム育成のため、打ち合わせ会議なる芸能大会が行われること。

等だそうです。次回は宮城県壮年テニス連盟が主管であると聞きましたので、テニスはもちろんの事、夜の部でも実力が十分に発揮出来るよう練習するつもりです。

大変楽しい交流会に参加出来ました。是非、今後ともこの催しが長く続くように期待しております。



### 「より楽しいテニスを」

高橋 龍夫

No.4 【シンプル イズ サ ベスト】

前回では「狙った場所に打ち返すことの出来る確率が高いストローク」を修得することが出来るか否かがゲームの勝敗を左右する最大の要因であり、スピードのあるボールを打つことやボールに回転をあたえることは2次的な要素である、というお話をしました。勿論、このお話は、私達老壮年PHプレーヤーのテニスの領域内の話であって、ジュニアや学生プレーヤー等将来トッププレーヤーを目指す人達を対象とした話ではありません。

「確率の高いストローク」とは、「再現性のあるストローク」と言い換える方が適切かも知れません。それでは「再現性のあるストローク」するためにはどんな方法があるのでしょうか。幾つかの方法が挙げられそうですが、多くのプレーヤーに対して共通性の高い方法から順次述べて行きましょう。

① 早くラケットをひく(テイクバックをはやくする)。相手の打ったボールをバックハンドあるいはバックハンドのどちらかで打つかを決めたら直ちにラケットを引きましょう。「早く」という意味は「速く」ということではありません。「飛ん来るボールに合わせてラケット、スリーのリズムで円弧を描きながらラケットを引きましょう」等と教えられた人もいらっしゃるようですが、この方法はいただけません。何故ならば、飛んでくるボールのスピードが一球一球違います。その都度リズムの速さを変え

なくてはなりません。さらに、バックハンド後のボールの速さも変化しますし、レギュラーした場合にはお手挙げです。相手のボールの緩急に関係なく、早くラケットを引きましょう。

② ラケット面を早くつくる。ラケットを引く時、無意識に引くのではなく、ボールを打つ瞬間のラケット面を想定して、この面を作りながらラケットを引いて構えるようにしましょう。

③ ボールを打つ時の打点の高さを予測して、構えるラケットの位置を決める。高く弾んでくるボールを高い打点で打とうとする時にはラケットを高く、低くて滑ってくるボールを打つときはラケットを低く構えましょう。

以上3つの項目がいつも実行出来れば、あるいは、実行出来るように努力をすれば、貴方のストロークは「再現性のあるストローク」に生まれ変わります。何故ならば、ラケットを構えてからボールを打つまでの動作が単一化するからです。ボールを打つ時のラケットの軌道が何時も直線に近ずき、面の変化がほとんど無くなります。動作が「シンプル」になればなるほど必要な動作を再現することが易くなるのは自明の理です。ボールを打つ動作の中で最も大切で難しいのは、ラケットを構えてからボールを打つまでの動作です。この動作の中に沢山の必要な項目(ラケットの軌道や高さの調整、ラケット面の修正等)を取り入れることは、「再現性のあるストローク」をすることを難しくしてしまいます。前もって出来る項目は「早目」にしておくことです。そして、最後の動作をよりシンプルなものにしましょう。「シンプル イズ サ ベスト」なのです。★

